



2026年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03-3492-3633)

過去開示決議事項（福岡証券取引所への重複上場申請）の中止 および今後の当社の資本政策に関するお知らせ

当社は、2026年6月12日付「当社株式の福岡証券取引所への重複上場申請に関する取締役会決議のお知らせ」において公表いたしましたとおり、同取引所への上場申請を行うことを決議し、準備を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会において、同申請を中止すること、および今後の当社の資本政策について次の通り決議しましたのでお知らせします。

記

1. 決議内容

- (1) 福岡証券取引所への重複上場申請を中止する。
- (2) 東証上場廃止を見据え、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーへの影響を総合的に勘案しつつ、福岡証券取引所への上場申請に代わる適切な資本政策（上場廃止までの期間に当社株式の流動性確保策）を検討・準備する。

2. 経緯・理由

福岡証券取引所との協議を継続する中で、重複上場申請と並行して検討を進めている他の資本政策との間でのスケジュールの調整を検討したところ、各施策の確実な実行を担保するためには、限られた時間における施策の優先順位を再検証する必要が生じました。これに加え、現在の当社株価の動向から、同取引所の形式基準（上場時時価総額10億円以上）の充足が現時点で不透明である状況等を総合的に勘案した結果、不確定要素の強い他市場上場申請に依存するのではなく、より現実的かつ確実性の高い株主保護策へ注力することが最善であると判断し、同取引所への上場申請を見送ることといたしました。

当社の株主構成は株主数ベース、株式数ベースともに個人株主の皆様が9割以上を占めており、当社にご期待頂いている株主の皆様が保有される当社株式の流動性（売買機会）の維持は、当社が重視すべき重要な経営課題の一つであると認識しておりますが、福岡証券取引所への重複上場申請を行わないこととした結果、東証上場廃止後において市場取引による当社株式の流動性を維持することは、大変残念ながら困難となります。

今後は、他市場上場へ代わる具体的な資本政策（株主の皆様への影響を総合的に勘案した上場廃止期日までにとり得る流動性確保策を含めた代替策）について、早期の具体化に向け慎重に検討・準備を進めてまいります。

当社の資本政策に関し上記のような変更を行うこととなり、株主、投資家の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしますこと、深くお詫び申し上げます。

なお、現時点において本件に関して上記以外に確定・決定した事実はなく、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上